

八重咲きテッポウユリ「咲八姫(さくやひめ)」の育成

従来のテッポウユリより花被片の枚数が2倍以上の八重咲きのテッポウユリ「咲八姫」を育成

背景・目的

- ・テッポウユリは本県の特産花き品目で、沖永良部島では輸出用として明治時代から栽培
- ・近年は、欧米で育成されたオリエンタル系ユリと競合し、テッポウユリの消費量は減少傾向
- ・球根産地の沖永良部では高齢化や販売価格の低迷などで、球根産出量も減少傾向(最盛期の1/10以下)
- ・テッポウユリの消費拡大が期待できる新奇性の高い品種の育成が必要

成果の内容



1株に22輪咲かせた切り花

「咲八姫」の特徴(主力品種「ひのもと」との比較)

交配親 ピュアホルン自殖

花被片15枚, 雄しべ3本, 雌しべ1本
(通常は花被片6枚, 雄しべ6本, 雌しべ1本)
開花は「ひのもと」よりやや遅い
花数は「ひのもと」よりやや多い
草姿は立葉, 上向き咲きで非常に良い
葉枯病に強い

平成31年4月8日 品種登録出願公表

大島郡知名町における4月出し栽培

品種	収穫 盛期 (月/日)	到花 日数 (日)	草丈 (cm)	花数		プラス ティング率 (%)
				1次 (輪)	2次 (輪)	
咲八姫	4/18	206	111	3.0	0	0
ひのもと	4/7	195	102	2.8	0	0

注1) 球根サイズ: 3S球, 定植日: 平成29年9月24日, 雨よけハウス

注2) プラスティングとは蕾の生育が停止する生理障害で, 総花数にしめるプラスティングの割合を示す

期待される効果

テッポウユリの消費拡大, 産地の活性化

鹿児島県農業開発総合センター果樹・花き部花き研究室

導入メリット



「咲八姫」の分解写真



ピュアホルン 「咲八姫」



「咲八姫」 ピュアホルン

切り花での利用は課題が残されているが、当面は4~5月出荷を中心に切り花品種としての普及を図り、作期拡大を想定し栽培技術を確認していく。

普及対象・範囲

県内テッポウユリ切り花生産農家